

9〇〇草原で秋まで過ごす若牛



5月27～29日 広々とした牧場で草をはむ 9〇〇草原に牛が入牧

5月27日から29日の日程で、酪農家で育てられた若牛が家畜車で運ばれ、広々とした町営牧場・9〇〇草原へ放されました。

今年は、1,600頭もの牛が集まりました。これから栄養豊かな牧草を食べて、起伏のある牧場内を元気に走り回り、たくましく成長して、秋には畜主のもとへ戻ります。たまにはのんびりと、元気な牛たちを眺めてみませんか。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐかけつけます。お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913 (課直通)

6月10日 自慢の牛馬を競い合う 第59回弟子屈町家畜共進会



町とJA摩周湖共催の第59回弟子屈町家畜共進会が6月10日、鋸別家畜共進会場で行われ、乳牛の部に7戸の酪農家から27頭が、馬の部には2戸の馬飼養者から3頭が出陳されました。心配された天候にも恵まれ、多くの農家や関係者が集まる中、美しい体型の乳牛や力強い馬に喚声が上がりました。主な審査結果は、次のとおりです。

- 乳牛の部 ▷グランドチャンピオン/インレット グリーン フラワー(江上和彦さん所有) ▷リザーブチャンピオン/グリークエスト マレクダー ロベル(坪井秀明さん所有) ▷ジュニアグランドチャンピオン/ハッピーランド アフターショック ヤンガー(吉田雄貴さん所有) ▷ジュニアリザーブチャンピオン/グリークエスト ゴー アトラス オリラ(坪井秀明さん所有)
- 馬の部 ▷最優秀賞/ヒカルベガ(倉田昭八さん所有)

6月9日 育てるのが楽しい 果樹の苗木を無料配布



会場では緑の募金も行われ、集まった方々が募金に協力していました。

苗木の無料配布会が6月9日、役場前と川湯支所前で行われました。町内の緑化推進のために毎年行われています。配布されたのはハスカップとクラブアップルという果樹の苗木で、両会場で140本が用意されました。寒さに強く丈夫で、実も楽しめるそうです。

6月16日 東日本大震災被災地の現状を知ってほしい 災害復興支援ボランティアによる報告会



てしかがえこまち推進協議会アート&アド部会(今井善昭部会長)主催の東日本大震災支援現場報告会が6月16日、PUKA PUKA(湯の島3)で行われました。震災発生以降、被災地に支援物資を送るなどの活動を行ってきた同部会が、被災地でボランティア活動を行ってきた方の話を、たくさんの方に聞いてほしいと企画したものです。秋吉秀樹さん(鋸別)、藤原俊和さん(美留和)、小山浩之さん(標茶町)が、スライドを使いながら被災地の現状を報告し、集まった約20人の皆さんが熱心に聞き入っていました。

6月11日 お世話になっている公園に恩返し 保育園児の保護者らが遊具に防腐剤を塗る



おひさま保育園(清水節子園長)の園児の保護者と保育士が6月11日、おひさま公園(泉1)の遊具やトイレなどに、防腐剤を塗りました。同公園は保育園の前にあり、園児が活動の中で日常的に利用していることから、地域へ恩返ししようと保護者の会が中心となって行っています。この日は約10人が参加。暑い中、手分けして丁寧に作業を行いました。



ロータリークラブと美小児童の植樹



緑化推進委員会から感謝状を贈られる増田一市さん(上)と今井林業様(右)

次の世代に 木をつなごう

グリーン・タッチ 弟子屈町植樹祭 ロータリークラブ植樹



みんなで力を合わせて植樹(グリーン・タッチ)

町内の子どもたちによる植樹活動「グリーン・タッチ」が6月7日、旧弟子屈町遊覧飛行場跡地で行われました。ふるさとの自然環境を守り、育てていく意識を深めてほしいと行われたもので、今年で2回目。ニトリの北海道応援基金やシーニックバイウエイの森事業などとの連携事業として行われました。園児・児童・生徒・教職員など約900人が一緒に、エゾヤマザクラ225本を植樹しました。6月9日には、弟子屈町植樹祭。森は自然の貯金箱。元仁多小学校分収林で行われました。緑のふるさとづくりを目的に、町と弟子屈町緑化推進委員会(会長・徳永町長)が主催して毎年行っています。今年約1300人が参加。カラマツ2千本と、北海道電力(株)弟子屈営業所(池田勝秀所長)から送られたドロノキ、エゾヤマザクラ各50本を植樹しました。また、緑化推進委員会に対してイチイの木88本と現金30万円を贈った増田一市さんと、20万円を寄付した今井林業(伊藤喜美雄代表取締役)に感謝状が贈呈されました。また同日、美留和小学校(山内雅恵校長)の児童と弟子屈ロータリークラブ(今井善昭会長)の皆さんが、同校にツツジの苗木30本を植樹しました。同クラブの地域奉仕の一環で、環境づくりのほか、子どもたちに木も生き物だと知ってほしいと、6年前から幼稚園や小学校に苗木を寄贈。一緒に植樹を行っています。

町の話



町の話



道路わきの茂みのごみも丁寧に拾う



みんなで協力し合って

ごみ拾いで心地よい汗

摩周湖クリーンウォーク2011

町主催の「摩周湖クリーンウォーク2011」が6月4日、町内各地の国道や道道沿いで行われました。摩周湖周辺の環境保全対策や自然の番人宣言事業、シーニックバイウエイ弟子屈エリアの活性化事業の一環として行われたもので、今年で6回目です。今回は一般市民の方や小・中学生、園児のほか、事業所などから約590人が参加。社会貢献活動として6年連続参加している弟子屈町建設業協会(辻谷智之会長)からは、約70人が参加しました。参加者は16のグループに分かれ、摩周湖や川湯温泉、仁伏などの8コース全50キロを歩き、空き缶やペットボトル、タバコの吸い殻などのごみを約5700個集めました。また今年も、弟子屈町建設業協会がトイレカ1を2台提供したほか、弟子屈町未来子ども協議会の会員がお茶のサービスを行いました。徳永町長は「たくさんの方々に参加いただき、また、たくさんの方々に協賛いただいたことに、誠に感謝している」と話していました。



6年連続参加の弟子屈町建設業協会



8コースに分かれてごみ拾い